公式 東海道品川宿 まち歩きマップ 名所ポイント

●名所ポイント ●街道松 ●桜 寺 神社 銭湯 学校 旧品黒川の川筋
●まちの歴史の看板 発祥の地 トイレ 郵便局 警察・交番 東海七福神 立派な樹木

街道松
品川宿では、東海道の各宿の街道松をつなぐ事業を進めています。
これまで、浜松宿 三島宿 土山宿 藤沢宿 保土ヶ谷宿 枚方宿 御油宿 亀山宿
関宿 坂下宿 袋井宿 神奈川宿から寄贈をいただいています（後数本のケースも）。
これからも街道松をつなぎ、東海道57次の宿場町との交流を深めていきます。

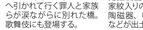
浜川機（なみだ機） B-4
江戸の街道のひとつ新小森へ向かわれて行く罪人と家族から涙ながらに別れた機。歌舞伎にも登場する。

浜川陣屋 B-7
幕末に外国船の来航に備え佐藤が築造した砲台場の一つ。坂本龍馬も砲の警固に着いたとされる。

蛟洲八幡神社 B-7
御林猟師町の鎮守。8月の例大祭では、神輿の宮出しが午前3時の暗闇の中で執行行われる。

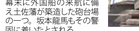
坂 B-6
東海道から西の大井町への道は全て上り坂。木の芽坂、べけんがんだん、馬場坂、ヘリマン坂などがある。

しながわ区民公園 B-3
春の梅、秋、初夏の新緑、秋の紅葉、サイクリング、スキスポーツ施設もあり、家族で楽しめる。



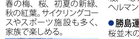
鈴ヶ森刑場跡 A-2
小塚原に並ぶ江戸の仕置き場。八百屋お七が火あぶりの刑となった磔石も残っている。明治4年廃止。

徳叢寺 B-5
江戸時代初期、延宝八（1680）年の銘が刻まれた、高さ93cmもある石造の閻魔坐像が祭られている。



しながわ花海道 B-5
勝島運河の岸辺に沿って四季折々の花を咲かせる起動、地元の人たちの手によって進められている。

しながわ水族館 B-1
お楽しみはイルカやアシカ、アザラシのショー。そして水中トンネル、海の生物に触れる展示も人気。



大井ゆかりの人々
品取寄で有名な一帯。松尾芭蕉／優勝の祖・林淋茶／句碑を残す・雪中庵夢太／浜川砲台を警固・坂本龍馬／幕末の四賢像・山内豊信／ビール醸造の父・古賀一郎／鈴ヶ森で処刑・丸橋忠弥、平井權八、天一坊、八百屋お七／大井を描いた画家・竹内重雄

仙台坂道路 B-8
発掘調査では、伊達家の家紋入りの広や江戸時代の陶磁器、味噌工場の遺構などが出土している。

山内豊信（容堂）の墓 B-7
土佐藩主・山内豊信は、幕政に関与した幕末の四賢侯の一人。酒と大井の地を愛し、ここに眠る。

蛟洲八幡神社 B-7
御林猟師町の鎮守。8月の例大祭では、神輿の宮出しが午前3時の暗闇の中で執行行われる。

坂 B-6
東海道から西の大井町への道は全て上り坂。木の芽坂、べけんがんだん、馬場坂、ヘリマン坂などがある。

勝島運河／船だまり C-6
桜並木の遊歩道に花海道、運河には点々や棲みなる鳥、屋形船や釣り船、こどもはみんなの憩いの場に。

来福寺 B-6
990年創建の品川でも最も古い寺のひとつ。鐘楼の珍林浄国の碑や、俳人・雪中庵夢太の句碑が。

しながわ水族館 B-5
勝島運河の岸辺に沿って四季折々の花を咲かせる起動、地元の人たちの手によって進められている。

ビール発祥の地 B-5
初代品川県知事の吉賀一平が、麦酒の勉強で因縁する市民の飲酒実に初のビールを製造し販売した。

坂本龍馬像 B-4
龍馬は二十歳で江戸に剣術修行に出た。その時の剣術の先生が、佐藤彪三郎。

仙台藩下屋敷跡 B-7
江戸時代に仙台藩伊達家の下屋敷があったとされる。敷地内では当時から仙台味噌が製造されていた。

天王洲寺／碑文谷地蔵 B-11
運搬と鉄道が平面交差の頃に起きた碑文谷踏切事故の犠牲者を偲ぶ、地蔵を祀る。レンガ塀も美しい。

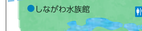
南品川にゆかりの人々
天妙国寺に七宝焼製を寄進・鈴木道風／城南小学校名を揮毫・山岡鉄舟／盲目の国政政治家・高木正雄／釜屋に投宿・土方歳三、新撰組／日本に航海術を伝授・J.M ボームス／詩人・高村光太郎、美術家・高村千恵子／権現谷を発掘・江見水蔵／城南小学校に通う・長谷川時／東海七福神を発案・有坂与太郎／品川のモース・東津健吉／間屋場を舞台に大長編漫画を描いたジョージ・秋山

天妙国寺に眠る人々
剣豪・伊藤一刀斎／浪曲師・桃中軒雲右衛門／新内節三代目・鶴賀新内／歌舞伎でおなじみ・お熱い生女、男村伊三郎（新られも三郎）

ゼームス坂・仙台坂

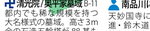
水元寺／三重塔 B-11
浜離松岡が立会いをした「品川図会」で知られる寺。品川宿内で三重の塔があるのは当寺のみ。

高村智恵子記念碑 B-9
高村光太郎の詩「レモン哀歌」が刻まれている。妻の智恵子が療養した病院跡地に地元の有志が建立。



来福寺 B-6
990年創建の品川でも最も古い寺のひとつ。鐘楼の珍林浄国の碑や、俳人・雪中庵夢太の句碑が。

鈴ヶ森刑場跡 A-2
小塚原に並ぶ江戸の仕置き場。八百屋お七が火あぶりの刑となった磔石も残っている。明治4年廃止。



徳叢寺 B-5
江戸時代初期、延宝八（1680）年の銘が刻まれた、高さ93cmもある石造の閻魔坐像が祭られている。

しながわ花海道 B-5
勝島運河の岸辺に沿って四季折々の花を咲かせる起動、地元の人たちの手によって進められている。

しながわ水族館 B-1
お楽しみはイルカやアシカ、アザラシのショー。そして水中トンネル、海の生物に触れる展示も人気。

大井ゆかりの人々
品取寄で有名な一帯。松尾芭蕉／優勝の祖・林淋茶／句碑を残す・雪中庵夢太／浜川砲台を警固・坂本龍馬／幕末の四賢像・山内豊信／ビール醸造の父・古賀一郎／鈴ヶ森で処刑・丸橋忠弥、平井權八、天一坊、八百屋お七／大井を描いた画家・竹内重雄

しながわ・ジュネーヴ友好の花時計 C-10
品川区内の洋子様りの種が縁で結ばれた品川区とジュネーブ市。その友好の証に同市から寄贈された。

ジュネーヴ平和通り C-10
青物横丁駅前から花時計に至る通は、ジュネーヴ市の平和通り（Avenue de la Paix）との姉妹道路。

竹内医院／明治40年 C-9
区内で最も古い洋風建築。上げ下げ式窓、ステンドグラス、下見板張りペンキ塗装などが特徴。

品川寺／洋行帰りの鐘 C-9
ジュネーブ市と品川区。さらに同市と品川区との友好都市提携へと発展するもとになった梵鐘。その二鐘は幕末までさかのぼる。

品川寺／江戸六地蔵 C-9
江戸時代に街道の安全を願い各地に地蔵が造立された。その江戸六地蔵のうちの第一番目が品川寺。

旅籠屋釜屋跡 C-9
江戸名所図会「品川駅」にも描かれた釜屋。新撰組が投宿記録も多い。地元の有志が碑を建立した。

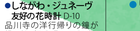
海雲寺／千躰荒神 C-9
火伏せの神様。品川の鬼門を守る。毎年、8月3日と11月の27・28日。

鉄火場／鈴ヶ森刑場 B-11
鈴ヶ森刑場跡。江戸時代、ここで処刑された人々の遺体が運ばれた。

鉄火巻き発祥の地 B-11
問屋場周辺の労働者が手軽に旨いものを求めて、ここに魚がり。

問屋場貨物改所跡 C-11
江戸時代に海路、陸路の物流を管理し、輸送のための荷を立ての人馬を用意したターミナル機能跡。

長徳寺
品川のお閻魔様 C-10
境内左手の閻魔堂には、江戸時代から信仰された六道図（地獄絵図）と木造の閻魔像が祀られている。



天妙国寺 C-10
秋の彼岸までは万灯が境内を埋めつくす。剣豪・伊藤一刀斎、浪曲師・桃中軒雲右衛門らの墓。

ゼームス坂 B-8
日本に航海術を伝えた英国人J.M ボームスが開発し、地域へ貢献したことから呼ばれた。

馬頭観音 B-11
南品川を起点とする旅道路と池上道（ゼームス坂）が、西と南に分かれる交差点に祀られている。

石畳 C-10
400年変わらぬ東海道の歴史性を全て。歩道を石畳に、車道を土の色に近いアスファルトで整備。

松岡豊店 C-10
東海道に面した活舗は大正時代の建築。運がよければ、土間で蕎を作る職人の手仕事が見られる。

海老寺／釈迦誕生像 B-12
本堂は江戸時代の建築を一旦解体し再建した建物。右手の釈迦像は著名な彫刻家・長谷川源の作品。

蓮長寺／石造古井戸 B-11
江戸時代に歩行新宿（品川）の旅籠屋が密集した井戸。現存する中では最も古い井戸のひとつ。

妙蓮寺／高木正年墓 B-11
本堂は江戸中期の造営。これをコンクリートで覆っている。品川が誇る政治家・高木正年の墓がある。

街道松の広場 C-11
東海道の道筋に各宿の松を植える活動が進行中。この広場に植樹されているのは第一号の浜松宿の松。

東品川海上公園 D-12
目黒川の河口に桜で整備された公園。桟橋も設置され、春と秋のイルカウオッチング開り）で賑わう。

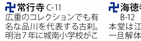
品川宿／江戸六地蔵 C-9
江戸時代に街道の安全を願い各地に地蔵が造立された。その江戸六地蔵のうちの第一番目が品川寺。

旅籠屋釜屋跡 C-9
江戸名所図会「品川駅」にも描かれた釜屋。新撰組が投宿記録も多い。地元の有志が碑を建立した。

海雲寺／千躰荒神 C-9
火伏せの神様。品川の鬼門を守る。毎年、8月3日と11月の27・28日。

天妙国寺 C-10
秋の彼岸までは万灯が境内を埋めつくす。剣豪・伊藤一刀斎、浪曲師・桃中軒雲右衛門らの墓。

茅原神社 C-12
南品川と東品川の鎮守。創建は和銅2（709）年と伝えられる。現在の社殿は江戸時代末の建築。



南品川櫻河岸ちなか観光案内所（旧交番） C-12
昭和4年頃に建てられた交番の建物を完全修復し「南品川櫻河岸ちなか観光案内所」として活用。

海徳寺／釈迦誕生像 B-12
本堂は江戸時代の建築を一旦解体し再建した建物。右手の釈迦像は著名な彫刻家・長谷川源の作品。

蓮長寺／石造古井戸 B-11
江戸時代に歩行新宿（品川）の旅籠屋が密集した井戸。現存する中では最も古い井戸のひとつ。

妙蓮寺／高木正年墓 B-11
本堂は江戸中期の造営。これをコンクリートで覆っている。品川が誇る政治家・高木正年の墓がある。

街道松の広場 C-11
東海道の道筋に各宿の松を植える活動が進行中。この広場に植樹されているのは第一号の浜松宿の松。

東品川海上公園 D-12
目黒川の河口に桜で整備された公園。桟橋も設置され、春と秋のイルカウオッチング（ドルフィンウォッチング）で賑わう。

新行寺（しばり地蔵 B-11
地蔵を縛ってしばると安らかの身代わりになってくれると伝えられる。地蔵は今も麻縄で巻かれている。

高村看板ミュージアム（工事中） C-11
江戸時代以来の貴重な看板、総数400点余の中から180点を厳選し展示。明和8ギョ2階、入場無料。

和・洋の多様な船遊び
品川湾と東京湾の周辺では、伝統的な釣り船、屋形船から、ヨット、ボート、カヤック、ボードウォークや多彩なショップ、レストランを魅力。

南品川宿

六行会 B-12
南品川の有志が幕末に設立し、今日まで教育助成と文化事業を柱に活動。品川図書館の建物を築いた。

江戸漁業視元の碑 C-13
青木神社の境内に建つ石碑には、品川の漁師たちが江戸の漁業の総元締めであるとされる「江戸漁業視元の碑」が刻まれている。

御殿山下砲台跡 C-14
ペリー来航に備えて築かれた台場のひとつ。隣接する築造で陸台場とも呼ばれた。現・台場小学校、校門の石柱には日本で3番目に古い品川灯台のレプリカが。実物は明治灯に移築、保存されている。

狐師町にゆかりの人々
位場築造を指揮・江川太郎左衛門／台場の木製砲大場久八／鐵砲の名工・伊豆長八／漁民のために闘う・高木正年／金のジャーナリストの元祖・本山荻舟

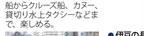
第四台場石垣 D-15
アイルの基礎は幕末の海上防備で築いた第四台場。ボードウォークの下には当時の石垣が残っていて、美しい石組みが見られる。

鯨塚／利田神社 B-14
品川の猟師が迷い込んだ鯨を祭る。神家家系もこの地の石碑。大正以来の品川海の水面まで一望できる。

伊豆の長八／こて絵 C-13
左官の名工・伊豆の長八の漆喰彩色鏝絵は必見の名作。鏝師の鏡守・若木神社本殿内側に、長八の作品が。このこて絵は、北品川の善福寺にも現存する。

品川浦船だまり B-14
たくさんの船が、釣り船や係留する水辺。特に夕刻、灯をともした船が行き交う水面はおすすめ。

御殿山ガーデン A-13
巨樹に恵まれた庭園には滝や池、茶室を巡る小径があり自由に散策できる。茶室は幽明軒の設計。



翡翠原石館 A-13
翡翠の巨大な原石や珍しい勾玉、翡翠遺り の露天風呂などを展示。装飾品のショップもある。

御殿山にゆかりの人々
幕府に館を建てた・太田道灌／廣狩りの館を建てた・徳川家康／桜を植えた・徳川家／数寄者・益田孝／狩行の父・原六郎／作家・吉川英治／教育者・津田梅子

狐師町・天王洲

品川稲荷 B-14
橋の上に立てば、21世紀の超高層ビル、大正時代の石橋、古き江戸の品川海の水面まで一望できる。

子供の森公園 A-12
木立の中に恐竜が立ち並び迫力満点。子供たちに大人気。3つの住居区の間に位置、東海小学校跡でもある。

東海寺にゆかりの人々
況庵を招き開山・徳川家光禅師を寄進・桂昌院／重政の神様・尾崎行雄

大山墓地に眠る人々
たくみ人を考案・武蔵和尚／盤の父・洪川春海／儀学者・服部南郭／国学の父・賀茂真淵／近代工業の父・西村勝三／鉄道の父・井上勝／演歌の母・島倉千代子

東海寺 B-12
徳川家光が故愛する況庵和尚を開山に迎え入れた寺。現内には桂昌院が寄進した梵鐘も残る。

品川碑子製造所跡 A-12
品川宿には今も古くからの横丁が残っている。清水横丁、台場横丁、青物横丁などなど、その名前の由来をたどれば、品川宿の歴史が見えてくる。

品川神社にゆかりの人々
神社を創始・源頼朝／御神面と神興を奉納・徳川家康／自由民権の父・板垣退助／扇絵を奉納・勝海舟

板垣退助墓 B-12
品川神社の本殿裏にあり、傍らに有名な「板垣死すとも自由は死せず」の言葉を刻んだ碑が建つ。

今もひさつく横丁の名前
品川宿には今も古くからの横丁が残っている。清水横丁、台場横丁、青物横丁などなど、その名前の由来をたどれば、品川宿の歴史が見えてくる。

品川神社にゆかりの人々
神社を創始・源頼朝／御神面と神興を奉納・徳川家康／自由民権の父・板垣退助／扇絵を奉納・勝海舟

北品川宿にゆかりの人々
井伊大老を討つ・水戸浪士／イギリス公使館を焼き討ち・高杉晋作、伊藤博文、井上馨、久坂玄瑞／鍵絵の名工・伊豆長八

品川神社 B-12
鎌倉時代初期に創建された、品川宿の鎮守。東京都指定の文化財。

一粒万倍の泉 B-9
品川神社本殿から、右手の鳥居を通り抜けた同郷。福荷社にある銘泉の泉。一粒が万倍になるとか。

品川富士 B-12
富士山を信仰する品川丸嘉講の人々が、品川神社の境内に築いた富士塚。山開きは毎年7月1日。

北浜ビとも冒険広場 C-12
ここがも主役で「自分の責任で自由に遊ぶプレイパーク」。子育て支援活動に取り組む NPO が運営。

品川宿交流館 本宿お休み処 C-12
まちづくり活動の拠点。訪れる皆さんの休憩、交流の場（駐車不屋を併設）歴史・文化の展示コーナーも。

品川宿交流館 本宿お休み処 C-12
まちづくり活動の拠点。訪れる皆さんの休憩、交流の場（駐車不屋を併設）歴史・文化の展示コーナーも。

品川宿 C-12
北品川と南品川とを分ける橋。江戸時代の東海道では日本橋から4つ目の橋。橋の上の公園は珍しい。

本照寺／寺子屋 B-12
近年、様々な人たちが活用できる空間の整備に力を入れ、地域に開かれた寺院の運営を進めている。

聖蹟公園 C-13
大名クラスの要人が宿泊した本陣の跡。明治天皇が東京行幸で休憩したことから聖蹟の名がつく。

正徳寺／レンガ塀 B-13
虚空蔵菩薩（薬師寺）に連なるこどもから虚空蔵様了と呼ばれる。品川宿らしい景観のひとつ。

養願寺 B-13
虚空蔵菩薩が本尊で、13歳の年に赤参りをすると、福禄と知恵が授けられると信仰されている。

品川小学校祥の碑 B-9
品川小学校は区内初の小学校として、明治7年に法神寺で開校している。それを記念する碑。

土蔵相模跡 B-14
水戸藩士の桜田門外の変、高杉晋作、伊藤博文らの英国公使館焼き討ちなどの舞台となった旅籠跡。

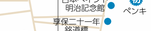
北品川宿御殿山

ゴジラ初上陸 A-15
映画「ゴジラ」の第1作目（1954年）、太平洋上の水爆実験で被爆したゴジラが初上陸したのがここアパ山。

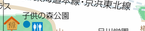
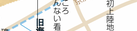
問答河岸の碑 B-14
家光と沢庵が禅問答を交わしたことから付いた船着場の名前。東際には現在も上がりっと南であった。

善福寺／こて絵 B-13
幕末から明治にかけて活躍した左官の名工として知られた伊豆の長八が残した、龍の浄瑠璃絵。

!? と思った時には、お立ち寄りを
まちを歩いていて不思議に思ったり、ちょっと困ったことがあったら、お気軽に お立ち寄りください。
品川宿交流館（本宿お休み処） 南品川櫻河岸ちなか観光案内所（通称：旧交番） 問屋場（ゲストハウス品川宿）
街道 BOOK&COFFEE 街道文庫



問屋場（ゲストハウス品川宿）

品川宿交流館 本宿お休み処

街道 BOOK&COFFEE